

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
令和8年度 公開水産科学実習

亜寒帯水圏生態系を対象とした総合フィールド科学実習 (北方水圏アラカルト実習) 実施要項

1. 授業科目

特別実習 I 1 単位（北海道大学水産学部の単位）

但し、単位は、所属する大学が認めたときにのみ修得となる。なお、本実習の受講により上記単位を修得した学生は、本年度実施する他の公開水産科学実習を受講しても再度単位を修得することはできない。

また、公私立大学の学生が上記単位を修得するには、あらかじめ学部間での単位互換に関する協定の締結が必要となる。（詳細については、北方生物圏フィールド科学センター学術協力担当宛て問い合わせること。（12. 参照））

2. 実施場所

【前半パート】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	忍路臨海実験所
同	洞爺臨湖実験所
同	臼尻水産実験所

【後半パート】

同	臼尻水産実験所
同	七飯淡水実験所

9 月 13 日（日）は休講日とし、参加者は 12 日夜から函館市内に 2 泊する。詳細は 11. 交通機関と宿泊について を参照のこと。

3. 実施期間

令和 8 年 9 月 9 日（水）～9 月 17 日（木）9 日間

9 月 9 日（水） 09:00 北海道大学総合博物館前 集合（予定）

9 月 17 日（木） 17:00 函館市国際水産・海洋総合研究センター 解散（予定）

4. 対象

国立大学（北海道大学を除く）、または公私立大学に在籍する学部 2～4 年次の者を対象とする。定員に空きがある場合は 1 年生および大学院生も受講可能だが、単位修得はできないので留意すること。前半パートまたは後半パートのいずれか一方のみの参加も認めるが、原則として全日程の参加希望者を優先する。

5. 主な実習内容

忍路臨海実験所、洞爺湖周辺、臼尻水産実験所および七飯淡水実験所を利用し、亜寒帯水圏生態系を構成する沿岸海藻群落、湖沼・沿岸域のプランクトン、魚類の繁殖・増養殖、およびバイオリギングによる行動計測を横断的に学ぶ。海域・湖沼・淡水域を連続して観察することで、水圏生態系の多様性、生物と環境の相互作用、およびモニタリング技術の基礎を理解する。また、磯焼け、水産資源の変動、地域の増養殖など、水産科学と社会的課題との関係についても扱う。

暫定スケジュール（カッコ内は宿泊する実験所）

- 1 日目（9/ 9）：海藻採集観察（忍路）
- 2 日目（9/10）：洞爺へ移動（洞爺）
- 3 日目（9/11）：プランクトン採集観察、臼尻へ移動（臼尻）
- 4 日目（9/12）：プランクトン採集観察、魚類講義（臼尻）
- 5 日目（9/13）：休講日（参加者は 12 日夜、13 日夜は函館市内に宿泊する）
- 6 日目（9/14）：七飯にて採卵採精・人工授精（臼尻）
- 7 日目（9/15）：七飯にて食の実学実習（官能試験，食品加工）（臼尻）
- 8 日目（9/16）：七飯にてバイオリギング体験（臼尻）
- 9 日目（9/17）：七飯にてバイオリギング体験（臼尻）

6. 定員

定員は 10 名程度とする。書類選考により採否を決定し、採否については 7 月 31 日（金）までにメールにて個別に通知する。

7. 提出書類その他

- （ア）特別聴講学生願書
- （イ）学生証のコピー
- （ウ）受講希望理由書（前後泊および参加希望パートを必ず記入すること）
- （エ）学生教育研究災害傷害保険（学研災）および学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）への加入を証明するもの（領収書・証明書等）

書類(ア)(ウ)および本要項は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター食糧基地拠点ホームページ（教育関係共同利用拠点ホームページ）内の、公開水産科学実習のページよりダウンロード可。

URL：<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/wordpress/>

上記(エ)の保険では、本実習中における新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病感染時の治療および入院等の滞在にかかる費用は補償されない。

補償を受けるには（エ）の保険加入者が任意で加入できる「学研災付帯学生生活総合保険」に加入する必要がある。

詳細は食糧基地拠点ホームページ「Information（保険加入案内）」欄

<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/wordpress/insurance/>
を参照のこと。

※書類の提出が遅れる、または紛失等で再確認が必要な場合は申し出ること。

8. 申込期限：令和8年7月10日（金） 必着

9. 申込先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 事務部学術協力担当
〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西10丁目

TEL：011-706-3452 Mail：kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp

※1 必ず所属大学の教務関係担当事務を通して申し込むこと。

※2 メール・郵送のいずれかにより応募すること。なお、郵送により提出する場合、封筒表に「公開水産科学実習参加申込書類在中」と朱書きすること。

10. 参加費

宿泊費および食費は、参加日程に応じて実費相当額を徴収する。詳細な金額は、採択通知後に受講決定者へ通知する。（目安として、当拠点の他の実習は5日間の日程で実費1万円程度を徴収している。）

実習地までの往復交通費、前泊・後泊など実習期間外の宿泊費は実習生が負担する。なお、授業料の徴収はしない。

11. 交通機関と宿泊について

近年の交通機関および宿泊施設の価格上昇に伴う参加学生の金銭的負担を考慮して、以下の対応を行う。

【実習受講者に対する内々定通知】

早めに交通機関を予約できるよう、募集終了日（7月10日）以降なるべく早く、受講内々定者に向けて通知を行う。

【前後泊および休講日の宿泊】

前後泊（各1泊）を本学で手配している。宿泊希望者は、別紙受講希望理由書の「宿泊希望」の欄に必要事項を記載すること。9/12の実習後～13日（休講日）については、各自で函館市内のホテルを2泊分予約すること。詳細については、受講希望理由書を参照のこと。

12. 問い合わせ先

【申込に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター事務部 学術協力担当（千葉）
〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目 TEL：011-706-3908

Mail : kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp

【実習内容に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 水圏ステーション

Mail : kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp (実習内容担当者への取次ぎ)

(担当教員：四ツ倉典滋・飯田碧・萩原聖士・南憲吏)

13. 参考

食糧基地拠点 HP : <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/wordpress/>

七飯淡水実験所 HP : <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/nanae/home.html>

臼尻水産実験所 HP : <https://sites.google.com/view/usujiri-fisheries-station-hu/>

14. その他

各施設間の移動は、すべて教職員が運転するレンタカー等で行う。自家用車での移動は認められないので留意すること。詳細な日程、実習内容、交通案内、日常生活上の注意などに関しては、採択通知後に受講決定者にメールにて通知する。